

ようじき
「**幼児期までのこどもの育**」
そだ
かか きほんてき
「**ちに係る基本的な**」
かしょう
さくてい む
「**ビジョン(仮称)の策定**」
ちゅうかんせいり
「**に向けて(中間整理)**」

げつ
そだ ささ しょうがい
「**すべてのこどもの「はじめの100か月」の育ちを支え生涯にわたるウェルビーイング向上を図るために**」
こうじょう はか

ぼん
(やさしい版)

れいわ ねん がつ
令和5年9月

かていしんぎかい
こども家庭審議会

「^{ようじき}幼児期までの^{そだ}育ちに^{かか}係る^{きほんてき}基本的な^{かしょう}ヴィジョン（^い仮称）」（以下『^{げつ}はじめての100か月の^{げつ}ヴィジョン』という。）

『^{げつ}はじめての100か月^{なん}ヴィジョン』って何ですか？

○^{しょうがっこう}こどもが^{はい}小学校に入る^{まえ}前までの^{じゅうよう}重要な^じ時期に、^{ひとりひとり}一人一人が^{すこ}健やかに^{そだ}育つことができるよう、^{みな}皆に^{たいせつ}大切に^{きほんてき}してほしい^{かんが}基本的な^{かた}考え方をまとめたものです。

○『^{げつ}はじめての100か月^{なん}ヴィジョン』を^{ひと}すべての^{りかい}の人に^{しゃかい}理解^{かんが}してもら^{かた}うことで、^{せいかい}社会の^{かんが}考え方^{かた}を変えて^かいく^{かしんぱん}きっかけ^{ほうこう}にする^{しめ}ことと、「^{せいふ}羅針盤」が^{せいふ}方向^{せいふ}を示^{せいふ}すように、^{せいふ}政府が^{せいふ}どのよう^{せいふ}な^{せいふ}政策^{せいふ}に^{せいふ}取り^{せいふ}組^{せいふ}む^{せいふ}べき^{せいふ}なの^{せいふ}か^{せいふ}を示^{せいふ}す^{せいふ}役割^{せいふ}を^{せいふ}果^{せいふ}た^{せいふ}し^{せいふ}ます。



「^{げつ}はじめての100か月^{なん}」って何ですか？

○^{かあ}お母さんが^{にんしん}こどもを^{しょうがっこう}妊娠^{ねんせい}してから^{とちゅう}小学校^{ねんせい}1年生^{とちゅう}の^{とちゅう}途中^{とちゅう}くらい^{とちゅう}まで^{とちゅう}を^{とちゅう}月^{とちゅう}で^{とちゅう}数^{とちゅう}え^{とちゅう}ると、^{とちゅう}だ^{とちゅう}いた^{とちゅう}い^{とちゅう}100^{とちゅう}か^{とちゅう}月^{とちゅう}に^{とちゅう}な^{とちゅう}り^{とちゅう}ま^{とちゅう}す。^{とちゅう}長^{とちゅう}い^{とちゅう}人^{とちゅう}生^{とちゅう}の^{とちゅう}は^{とちゅう}じ^{とちゅう}め^{とちゅう}の^{とちゅう}重^{とちゅう}要^{とちゅう}な^{とちゅう}期^{とちゅう}間^{とちゅう}だ^{とちゅう}と^{とちゅう}い^{とちゅう}う^{とちゅう}メ^{とちゅう}ッ^{とちゅう}セ^{とちゅう}ー^{とちゅう}ジ^{とちゅう}が^{とちゅう}込^{とちゅう}め^{とちゅう}ら^{とちゅう}れ^{とちゅう}て^{とちゅう}い^{とちゅう}ま^{とちゅう}す。

『はじめての100か月ヴィジョン』 はなぜ必要なのですか？

こどもが小学校に入る前までの時期は、
人生を幸せな状態（ウェルビーイング[※]）で過ごすために最も大切な時期です。

しかしながら、
どんなこどもであってもひとしく健やかに育つことができるのかについては、課題があります。

生まれるとき、保育園などに通う時、小学校に入る前後や、家庭、園、関係機関などの
間に切れ目が多いため、

社会全体でこどもの育ちを支える共通した考え方を共有

×

『はじめての100か月ヴィジョン』に
関連する施策の強力な推進のための道しるべが必要。

※ここでは「幸せな状態」とは、身体、心、取り巻く環境や社会の状況のすべての面で良い状態にあることを意味しており、専門用語で「ウェルビーイング」と呼んでいます。

すべてのこどもの生涯にわたる
身体的・精神的・社会的に良い状態・幸せな
状態（ウェルビーイング）



⇒すべての人の
ウェルビーイングにもつながる

『はじめての100か月ヴィジョン』では、

どんなことを大切にしているのですか？

きほんほう りねん せいり
こども基本法の理念にのっとり整理した
ようじき そだ
「幼児期までのこどもの育ちの5つのヴィジョン」



けんり そんげん まも こどもの権利と尊厳を守る

けんり まも すこ そだ
⇒こどもの権利が守られながら健やかに育つ

✓ にゅうようじ う けんり
乳幼児は生まれながらに権利をもっている

すべてのこどもが、生まれながらに権利を持っている存在として一人一人の違ちがいが尊重そんちようされている。

✓ にゅうようじ おも ねが そんちよう
乳幼児の思いや願いの尊重

幼児期のこどもの意見は必ずしも言葉で表あらわされるものではなく、さまざまな思いや願ねがいとして色々な形かたちで表れる。一人一人のペースがあるため、その思いや願ねがいを受うけ止め尊重そんちようすること。

✓ せいめい せいかつ ほしょう
生命や生活を保障すること

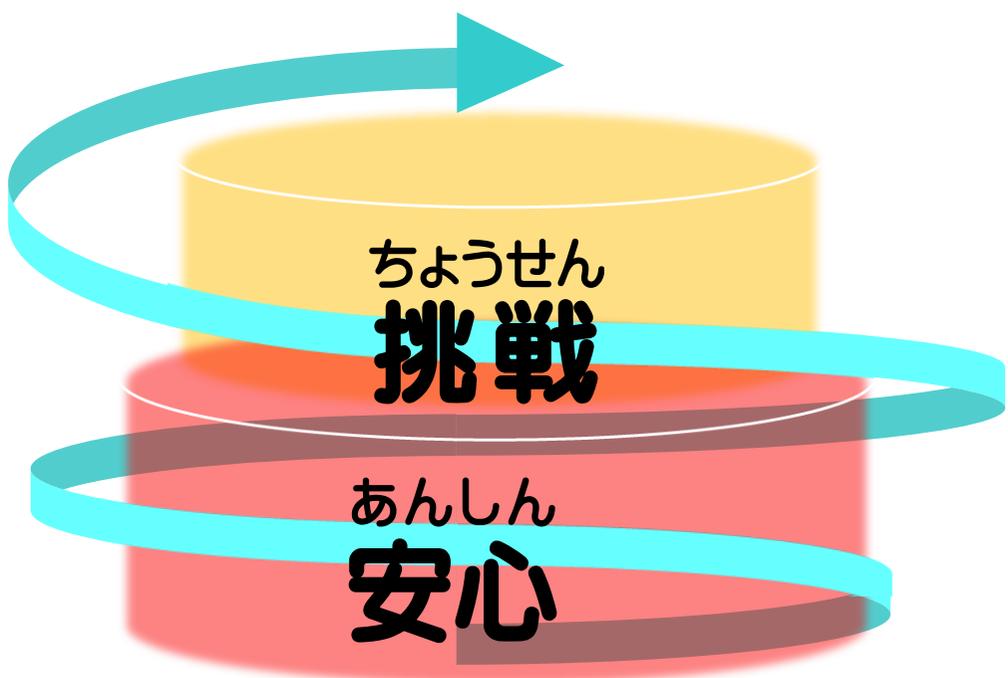
どんな環境かんきように生まれ育うっても、心身しんしん・社会的しゃかいてきにどんな状況じようきようであっても、すべてのこどもの生命せいめい・栄養えいようじようたい状態ふくを含む健康けんこう・衣食住いしょくじゅうが守まもられている。

02

「安心と挑戦の循環」を通して こどものウェルビーイングを高める

⇒乳幼児の育ちには

「アタッチメント」の形成と豊かな「遊びと体験」が重要



アタッチメント (愛着)
＜安心＞

こどもが怖くて不安な時などに身近な大人が寄り添う
ことで、「安心」することができる。

豊かな遊びと体験
＜挑戦＞

様々な人や環境と出会い、「遊びと体験」をする
ことで、外の世界へ「挑戦」していくことができる。

たんじょうまえ
 「こどもの誕生前」から
 き め そだ ささ
 切れ目なく育ちを支える



保護者・養育者のウェルビーイングと

せいちょう しえん おうえん

成長の支援・応援をする

⇒こどもの育ちそのものにとって重要

✓ 支援・応援を受けることを当たり前

こどもを育てることの最初の責任が保護者にあるからこそ、保護者が幸せな状態（ウェルビーイング）であり、親として成長できるよう、支援・応援は不可欠。

✓ すべての保護者・養育者とつながること

すべての保護者、こどもが支援につながるができるよう、こども同士がつながる身近な場所の活用など接点づくりの工夫が欠かせない。

✓ 男女ともに保護者・養育者が共育ち

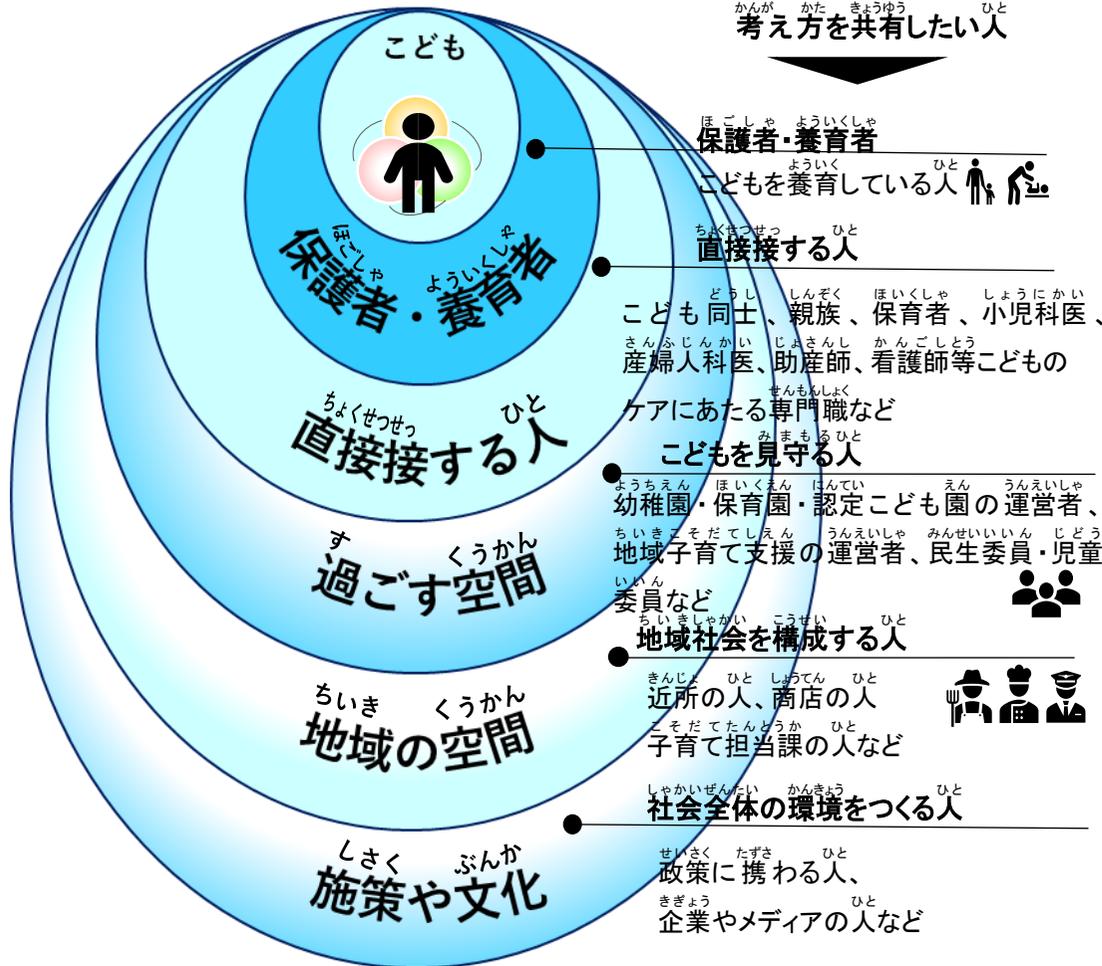
養育に必要な脳や心の働きは男女差なく経験によって育つ等。

05

そだ ささ かんきょう こどもの育ちを支える環境や

しゃかい ひろ ぶん 社会の広がりを増やしていく

「こどもまんなかチャート」



※空間には幼稚園・保育園・認定こども園や子育て支援の施設

のみならず、公園や自然環境、デジタル空間含む

そだ さいしよ せきにんしゃ ほごしゃ やくわり
こどもを育てる最初の責任者として保護者の役割が
じゅうよう しゃかい ささ おうえん ひつよう
重要だからこそ、社会が支えて応援することが必要。

いま しゃかいこうぞう あ はっそう
今の社会構造に合った発想で、
そだ ささ ひつよう
こどもの育ちを支えることが必要。

✓こどもまんなかチャートの視点

ひと た いち
すべての人がそれぞれの立ち位置で、こどもを
ささ とうじしゃ
支える当事者となることについて、「こどもま
なな」の視点で分かりやすく。

✓こどもも含め環境や社会をつくる

た いち ささ ひとどうし
さまざまな立ち位置で、こどもを支える人同士を
つなぐ、コーディネータを担う存在が必要。

こんご けんとうじこう 今後の検討事項

じっこうせい

実効性のある『はじめての100か月ヴィジョン』

げつ

ひつよう

なん

とするために必要なことは何ですか？

✓ **こども大綱に位置づけられる施策へ反映**

たいこう

いち

しさく

はんえい

ぐたいてき しさく きょうりよく すいしん ひつよう
具体的な施策を強力に推進していくことが必要。

✓ **こども家庭庁が司令塔となり、取組を一体的・総合的に推進**

かていちよう

しれいとう

とりくみ

いったいてき

そうごうてき

すいしん

『はじめての100か月ヴィジョン』の

げつ

① 絶え間ない見直しをする。

た

ま

みなお

② 効果的に正しく理解してもらい、行動に移してもらう。

こうかてき

ただ

りかい

こうどう

うつ

③ 実現に向けた定期的な観察や調査、確認できる体制をつくる。

じつげん

む

ていきてき

かんさつ

ちょうさ

かくにん

たいせい